

アクチュアリー  
専門コース2年  
石原 広都基礎科目全5科目合格  
準会員資格取得

### 試験対策について

私は学部4年時に「数学」、修士1年時に「生保数理」「損保数理」、そして今年度に「年金数理」「会計・経済・投資理論」に合格し、準会員となりました。会計研究科ならではの環境を活かした結果を出すことができた実感しております。まず、試験対策のためのカリキュラムが充実している点です。春学期には講義形式や課題にて理解度を高め、秋学期には演習形式の授業を通して理解を定着させることができました。先生方が自身の経験や過去問の分析を踏まえて授業を展開してくださるおかげで、出題されやすい部分や差がつきやすい部分を効率的に学習できたと思います。そして、同期や先輩方の存在が大きい点です。独学時には、全体像を捉えられていないために雲をつかむような学習も多かったのですが、会計研では、同じ目標に向かう仲間が多くいます。自主ゼミを通して、分からない問題を教え合ったり難しい内容の解釈やイメージを共有したりでき、疑問や不安を解消して勉強に臨むことができました。また、仲間の進捗に刺激を受けることで自身の勉強のモチベーションも高めることができ、精神面でも恩恵を得られる部分が大きいと感じています。

### 入学を検討中の方へのメッセージ

会計研究科では資格に直結しない部分でも、アクチュアリーとしての見聞を広めるための授業が充実しています。現在保険会社等で活躍されている方も含め、様々な経歴を持つアクチュアリーの先生方が教鞭を執ってくださる中で、実務に関する貴重なお話を伺えるほか、ケーススタディなどを通して必要とされる思考プロセスの経験を積むことができます。その他にも、私はデータサイエンスや管理会計の授業も精力的に履修していましたが、これらを通してより広い視点を持てるようになりました。それぞれで必要とされる、多角的な視点から分析すること、時間的な価値を評価し様々な指標を取り入れることは、アクチュアリーにも大きく重なる部分です。これらに留まらず、アクチュアリーとして問われる能力には様々なものがあります。会計研究科として「+1」というコンセプトがあり、私が履修してきた以外にもICTや税務など専門職としての付加価値を生み出せるような学習機会が充実しています。幅広い学びを得ながらアクチュアリーを目指していきたい方にとって、会計研究科は魅力的な環境であると確信しています。

アクチュアリー  
専門コース2年  
佐藤 久佳基礎科目全5科目合格  
準会員資格取得

### 会計研アクチュアリーコースの魅力

私は修士1年次に「数学」「生保数理」「損保数理」、修士2年次に「年金数理」「会計・経済・投資理論」に合格し、準会員となりました。試験合格を支えてくれた環境面も含め、私が感じた本コースの魅力は3つに絞ってお伝えします。1つ目は、「専門性の高い教授陣と充実した学習環境」です。本コースにはアクチュアリーに深い知見を持つ熱心な教授が数多く在籍されています。私は独学を軸に学習を進めましたが、教授陣による講義や教材を活用することで、より効率的に理解を深めることができました。特にアクチュアリー数学の教授自作の教材は非常に洗練されており、過去問と併用することで十分な対策ができました。また、疑問点を直接質問できる環境が整っており、数学の他、年金数理や会計の分野においても教授方の丁寧なご指導に支えられました。さらに、11号館地下にある自習室は、休日夜間など学部生が利用できない時間帯も開放されており、集中して学習に取り組むことができる貴重な環境でした。2つ目は、「学年を超えた人のつながり」です。同じ目標を持つ同期の存在は、学習を継続するうえで大きな力となりました。試験前には毎日自習室に通い、進捗を共有しながら互いに刺激を受けることで、モチベーションを維持することができました。このつながりは勉強のみならず、就職活動での情報共有でも大きな助けとなりました。また学年を超えた縦のつながりも大きく、先輩方からは就職活動やキャリアについて具体的な助言をいただき、大変お世話になりました。修士2年次には時に圧倒的な集中力を持つ後輩の姿に刺激を受けることもありました。学年を超えたつながりの強さは本コースの大きな魅力だと感じています。3つ目は、「実務を意識した「+1」の付加価値」です。本コースの魅力は、単なる試験対策に留まりません。教授陣の授業に加え、実務の最前線で活躍される企業の方々による講義を通じて、学習の先にある「アクチュアリー像」を具体的に描くことができました。さらに「+1」の理念のもと、データサイエンスや英語、会計など、将来の強みとなる分野を並行して学べる機会が提供されています。試験合格をゴールとするのではなく、その先の付加価値を付けたアクチュアリーを目指せる環境が整っていることも、本コースの大きな特徴です。

### 入学をご検討中の方へ

アクチュアリーを目指す人は決して多くなく、孤立しがちな進路でもあります。しかし本コースでは、同じ目標を持つ仲間に出会えながら学ぶことができます。前述したとおり、その環境のおかげで、試験へのモチベーションを維持することができただけでなく、就職活動への不安も次第に薄れ、自信を持って挑戦できるようになりました。ここで出会った仲間は、これからも長く関わり続ける大切な存在になると感じています。振り返れば、この2年間は想像以上に充実した時間でした。アクチュアリーを本気で目指す方にとって、本コースは大きな支えとなる環境であると実感しています。



アクチュアリー  
専門コース  
2020年度修了  
佐々木 希世貴  
第2次試験合格  
正会員資格取得

## 試験対策について

私は2020年度に会計研究科を修了し外資系の生命保険会社に入社後、社会人5年目の2025年度の試験で「生保1」と「生保2」に合格して正会員になることができました。準会員になったのが2021年度だったため、二次試験は4度の受験を行ったこととなります。私自身、暗記に対して苦手意識がかなり強く、ましてや仕事をしながらでは勉強時間が十分に確保できないという状況の中で、二科目の合格にありつけたのは「覚悟」と「環境」が大きな要因だったと実感しています。二次試験の勉強を始めた頃は、自分に合った勉強方法が思うように定まらず、試験勉強の進みが悪い年が続いてしまいました（勿論、準会員になったことへの慢心がなかったかといえば否定できず、その点は反省しています、）が、仕事に関して次のステップに進みたいといった思いから、2025年度は絶対に合格すると「覚悟」を決めました。まず、2024年度の試験のすぐ後、具体的には1月からその年の試験勉強を始めました。その時点では勉強方針が定まっていませんでしたが、試行錯誤しながら自分に合った方法に軌道修正しようという気持ちで、とにかく勉強量を確保するつもりで行動しました。そこからは勉強できる時間があればすべて勉強に回すくらいの勢いで「覚悟」をもって次の試験に臨みました。しかし、二次試験の範囲はとて広く、しかも二科目同時となると1年で網羅的にしっかり暗記するのは個人的には現実的ではないと途中で気づきました。そこで、大塚先生に二次試験の勉強スタンスを伺ったときの、「暗記だけでは学習に時間がかかりすぎるし、試験合格後の業務に活かす為にも理解が重要」という言葉を思い出し、暗記ではなく理解を重視するよう途中で方向転換しました。この軌道修正が功を奏して、それによって多くの論点に対応できるようになりました。また、所見対策として大塚先生から教えていただいた内容のうち、「日頃から考えながら仕事に取り組むことで課題や論点が見えてきて、これが所見問題の予想や回答に活きる」といった点なども強く意識していましたが、実際に予想したテーマが出題されたため、本番では余裕を持って回答することができました。社内での勉強会も有効だったと感じており、仲間と定期的に集まってアウトプットや議論する時間を設けていただき、それが自分の理解が足りていない点の補強や士気の向上に大きく繋がったと思います。これらは、まさに「環境」によって合格に近づけた要素であると感じており、関わった皆様には大変感謝しています。

## 後輩へのメッセージ

会計研究科で学ぶことは試験対策としては勿論、実務的な側面においても大きな学びを得ることができると思っています。例えば、私が在学していた時は野村先生ご担当の「確率・統計演習」を履修しており、たまに試験問題よりも難しい問題が授業の演習で出題されることもありましたが、その訓練を経たこともあって試験本番ではスムーズに問題を処理できたことを覚えています。現在はさらに講義の種類が充実し実務的な内容を扱った講義も増えているようですが、学生のうちに講義という形で理論の全体像を学ぶことで、仕事で取り組む作業が全体に対してどういった意味を持つのか理解する土台になると思います。会計研は沢山のことを学べる貴重な場なので、積極的に臨み、実りある時間を過ごしていただきたいと思います！